

「住みよさランキング」2013 で、

# 太田市は 県内で連続 1位です!

太田市は県内 1位  
関東8位 全国60位

都市名	ランキング
太田市	60位→
高崎市	142位↑
伊勢崎市	173位↓
前橋市	298位↑

注) 全国 789 市区の順位です。  
矢印は前年との比較を表しています。

※「住みよさランキング」とは

公的統計を基に、全国の市を対象にそれぞれの市が持つ「都市力」を、「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」「住居水準充実度」の5つの観点に分類し、総合評価としてランキング化したものです。(東洋経済新報社「都市データパック 2013」より)

平成26年度

# 予算のあらまし

## 目次

1. 予算規模 ..... 1
2. 予算の特徴
3. 一般会計 ..... 2
4. 特別会計 ..... 3
5. 一般会計歳入・歳出構成比
6. 予算額等の推移 ..... 5
7. 平成26年度の主要事業 ..... 7
8. 太田市の家計簿  
～太田市を一般家庭に例えたら～ ... 9  
～他の「まち」との比較～ ..... 10

太田市総務部財政課

# 平成26年度太田市予算

## 一般会計当初予算

# 767億円（前年度比3.6%増）

## 総額 1,290億 8,613万 3千円

## 1. 予算規模

（単位：千円・%）

会計区分	H26当初予算額	H25当初予算額	増減比
一般会計	76,700,000	74,000,000	3.6
特別会計	38,097,169	37,290,274	2.2
水道事業会計	7,057,025	6,958,467	1.4
下水道事業等会計	7,231,939	6,929,346	4.4
合計	129,086,133	125,178,087	3.1

※平成25年12月31日で藪塚本町介護老人保健施設特別会計は廃止になり、平成26年度の特別会計は6会計となりました。

## 2. 予算の特徴

### ◆市税収入が26.6億円の増

本市の基幹産業である輸送機器関連企業の好業績を反映し、法人市民税を20.3億円増額しました。また、個人市民税も5.1億円増額となっております。

### ◆地方消費税交付金が7.7億円の増

平成26年4月からの消費税率引き上げに伴い、地方消費税交付金が7.7億円の増額となっております。この増額分は社会保障施策に活用いたします。

### ◆市債を抑制し、12.9億円の減

財政規律（償還元金を超えない市債の発行）を堅持するため、市債を12.9億円減額しました。

### ◆長年の懸案事項を一気に解決

太田市土地開発公社が代行取得し、長期保有している土地をすべて買戻しするための用地購入費20.2億円を計上しております。このことにより同公社の経営健全化を図ります。将来へのツケはできるだけ残さず、次の世代の明るい笑顔を守ります。

### ◆新市民会館の本格工事がスタート

平成28年度内の完成をめざし、本格工事がスタートします。総事業費49.9億円のうち平成26年度は12.4億円を計上しました。

### ◆第8次実施計画事業への積極的な取り組み

太田駅北口・南口駅前の整備、合併10周年記念事業、第3子以降子育て支援事業など、121件の政策的事業に104.6億円を計上し、「人と自然にやさしい、笑顔で暮らせるまち太田」を実現します。

### ◆消費税率引き上げに伴う対策事業

消費税率引き上げに伴う国の対策事業として、臨時福祉給付金給付事業や子育て世帯臨時特例給付金給付事業を実施するほか、市の独自事業としてプレミアム金券発行事業などを実施します。

### 3. 一般会計

#### 【歳入】

(単位：千円・%)

区 分	H26当初予算額	H25当初予算額	増減比
市税	36,641,910	33,981,419	7.8
地方譲与税	750,001	820,001	▲8.5
地方消費税交付金	2,970,000	2,200,000	35.0
地方交付税	4,200,000	4,200,000	0.0
国庫支出金	9,757,702	8,637,274	13.0
県支出金	5,538,597	5,429,939	2.0
繰入金	1,744,869	1,971,989	▲11.5
（うち財政調整基金）	(1,500,000)	(1,500,000)	(0.0)
（うち減債基金ほか）	(244,869)	(471,989)	(▲48.1)
市債	6,507,000	7,792,800	▲16.5
（うち通常債）	(3,358,000)	(4,382,800)	(▲23.4)
（うち臨時財政対策債）	(3,149,000)	(3,410,000)	(▲7.7)
その他	8,589,921	8,966,578	▲4.2
合 計	76,700,000	74,000,000	3.6

●通常債とは、建設事業に充てる地方債を意味します。

●その他の内訳は、諸収入4,087,161千円、使用料及び手数料1,901,580千円、分担金及び負担金1,856,316千円などです。

#### 【歳出】

(単位：千円・%)

区 分	H26当初予算額	H25当初予算額	増減比
議会費	509,809	512,582	▲0.5
総務費	11,616,115	8,399,155	38.3
民生費	27,044,777	25,322,450	6.8
衛生費	5,633,066	5,769,321	▲2.4
労働費	336,062	337,688	▲0.5
農林水産業費	1,520,193	1,425,504	6.6
商工費	2,852,600	3,048,615	▲6.4
土木費	6,991,999	6,468,808	8.1
消防費	3,477,530	3,709,939	▲6.3
教育費	8,381,347	10,234,344	▲18.1
公債費	8,223,342	8,650,520	▲4.9
（うち通常債元金）	(5,692,879)	(6,243,511)	(▲8.8)
（うち臨時財政対策債元金）	(1,436,340)	(1,228,576)	(16.9)
（うち利子ほか）	(1,094,123)	(1,178,433)	(▲7.2)
その他	113,160	121,074	▲6.5
合 計	76,700,000	74,000,000	3.6

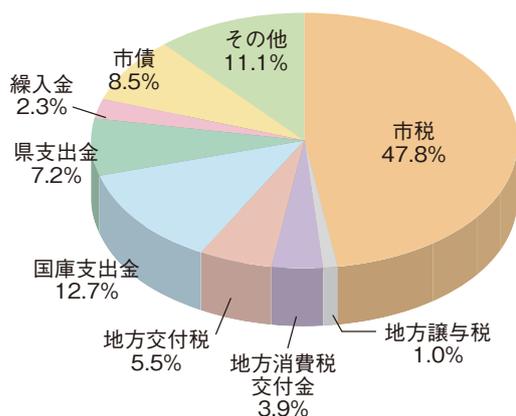
## 4. 特別会計

(単位：千円・%)

区 分	H26当初予算額	H25当初予算額	増減比
国民健康保険	22,733,621	22,498,774	1.0
住宅新築資金等貸付	16,600	15,960	4.0
後期高齢者医療	1,847,516	1,677,047	10.2
八王子山墓園	81,167	55,918	45.2
介護保険	13,190,575	12,617,014	4.5
太陽光発電事業	227,690	146,037	55.9
藪塚本町介護老人保健施設	—	279,524	皆減
合 計	38,097,169	37,290,274	2.2

※藪塚本町介護老人保健施設特別会計は平成25年12月31日で廃止となりました。

## 5. 一般会計歳入・歳出構成比



### ① 歳入

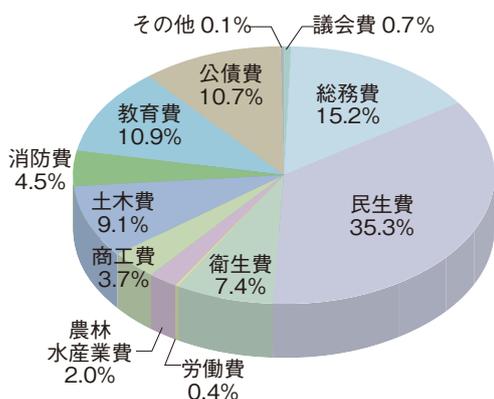
市税が大きく増え、市債が減っています。また、消費税率引上げにより、地方消費税交付金も増えています。消費税率引上げに対する国の対策事業により、国庫支出金も増えています。

	H26	H25	比較 (千円)
市税	36,641,910	33,981,419	2,660,491
地方譲与税	750,001	820,001	▲70,000
地方消費税交付金	2,970,000	2,200,000	770,000
地方交付税	4,200,000	4,200,000	0
国庫支出金	9,757,702	8,637,274	1,120,428
県支出金	5,538,597	5,429,939	108,658
繰入金	1,744,869	1,971,989	▲227,120
市債	6,507,000	7,792,800	▲1,285,800
その他(※1)	8,589,921	8,966,578	▲376,657
合 計	76,700,000	74,000,000	2,700,000

(※1) 諸収入4,087,161千円、使用料及び手数料1,901,580千円、分担金及び負担金1,856,316千円など

## ② 歳出 [目的別]

土地開発公社の長期保有地を全て買い戻すため、また新市民会館の工事が始まるため、総務費が大きく増えています。一方、小中学校の校舎・施設整備が一段落したので、教育費が減っています。

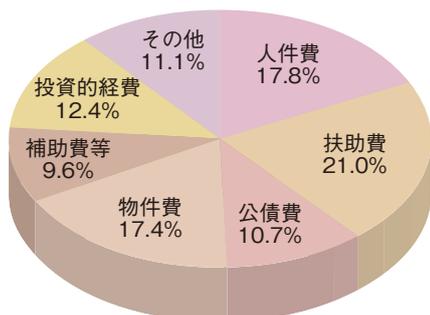


	H26	H25	比較 (千円)
議会費	509,809	512,582	▲2,773
総務費	11,616,115	8,399,155	3,216,960
民生費	27,044,777	25,322,450	1,722,327
衛生費	5,633,066	5,769,321	▲136,255
労働費	336,062	337,688	▲1,626
農林水産業費	1,520,193	1,425,504	94,689
商工費	2,852,600	3,045,615	▲196,015
土木費	6,991,999	6,468,808	523,191
消防費	3,477,530	3,709,939	▲232,409
教育費	8,381,347	10,234,344	▲1,852,997
公債費	8,223,342	8,650,520	▲427,178
その他(※2)	113,160	121,074	▲7,914
合計	76,700,000	74,000,000	2,700,000

(※2) 諸支出金13,159千円、予備費100,000千円など

## ③ 歳出 [性質別]

土地開発公社の長期保有地を全て買い戻すことなどから、投資的経費が大きく増えています。人件費、公債費は減っています。



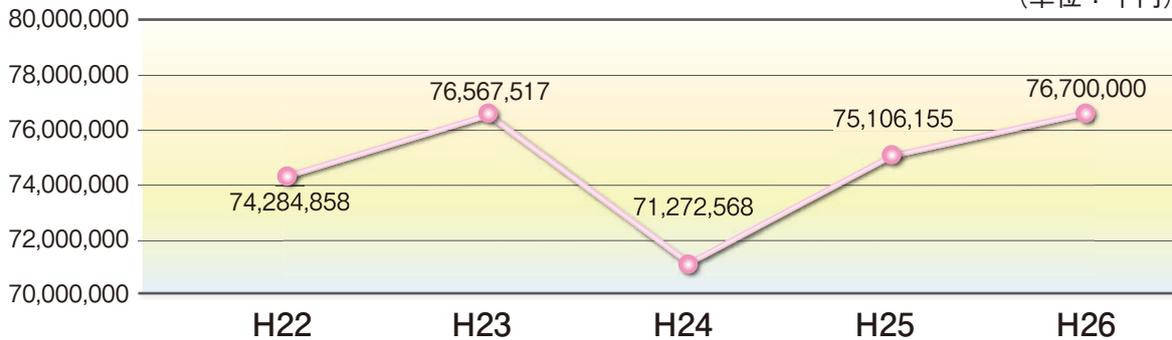
	H26	H25	比較 (千円)
人件費	13,678,195	13,894,841	▲216,646
扶助費	16,121,951	15,622,049	499,902
公債費	8,222,818	8,649,516	▲426,698
物件費	13,362,602	12,854,292	508,310
補助費等	7,348,855	6,543,589	805,266
投資的経費	9,455,913	8,108,385	1,347,528
その他(※3)	8,509,666	8,327,328	182,338
合計	76,700,000	74,000,000	2,700,000

(※3) 繰出金5,058,991千円、貸付金2,615,196千円、維持補修費314,224千円など

# 6. 予算額等の推移

## ① 歳出額（一般会計）の推移

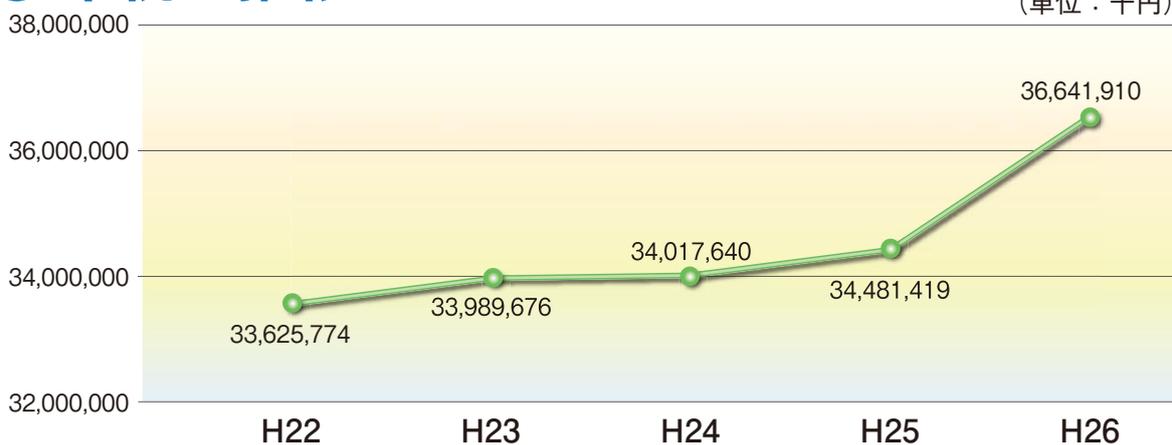
(単位：千円)



※ H 22 年度から H 24 年度は決算額、H 25 年度は 3 月補正後予算額、H 26 年度は当初予算額

## ② 市税の推移

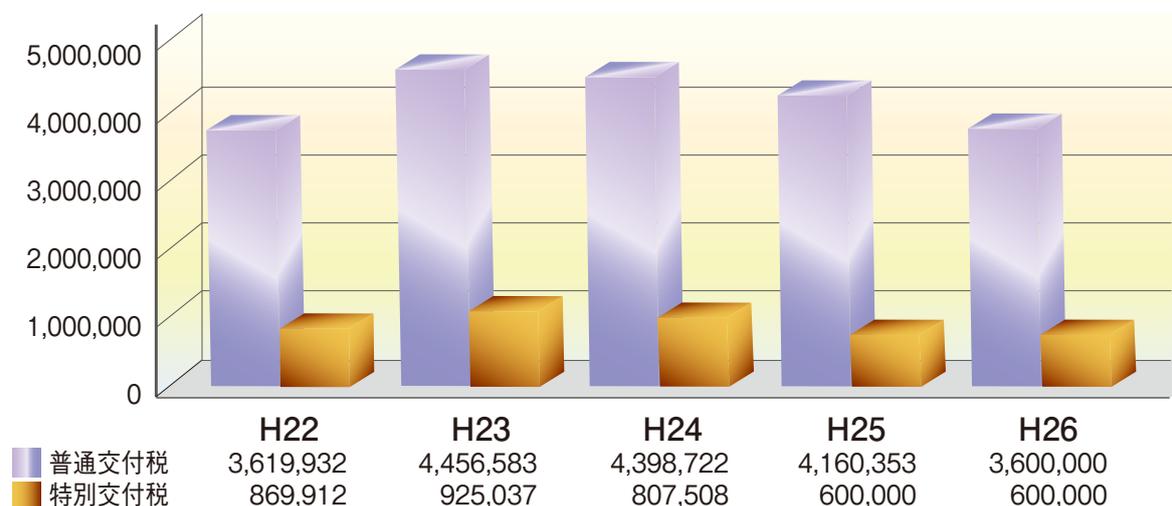
(単位：千円)



※ H 22 年度から H 24 年度は決算額、H 25 年度は 3 月補正後予算額、H 26 年度は当初予算額

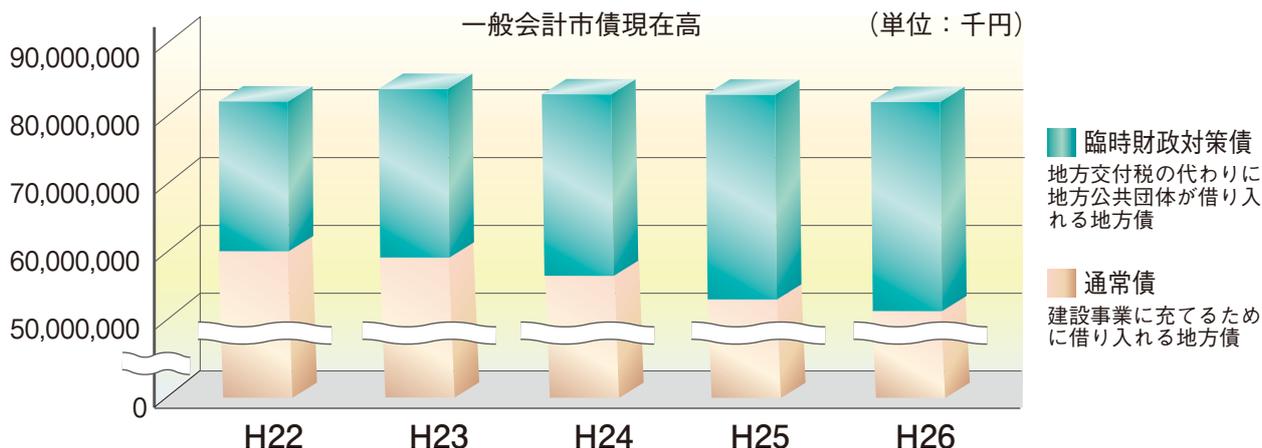
## ③ 地方交付税の推移

(単位：千円)



※ H 22 年度から H 24 年度は決算額、H 25 年度は 3 月補正後予算額、H 26 年度は当初予算額

## 4 市債現在高等の推移



区 分	H22	H23	H24	H25	H26
一般会計	80,542,985	82,408,126	81,913,086	81,104,468	80,482,249
（うち通常債）	(58,172,047)	(57,433,383)	(54,606,321)	(51,550,660)	(49,215,781)
（うち臨時財政対策債）	(22,370,938)	(24,974,743)	(27,306,765)	(29,553,808)	(31,266,468)
水道事業会計	19,707,886	18,731,848	17,662,347	16,923,333	15,898,274
下水道事業等会計	32,777,811	32,160,120	31,383,456	30,782,092	30,242,178
特別会計	505,063	344,977	330,986	57,071	77,864
土地開発公社長期借入金	2,214,137	2,011,886	2,145,524	★ 2,127,082	28,794
合 計	135,747,882	135,656,957	133,435,399	130,994,046	126,729,359

※H22年度からH24年度は決算額、H25年度は3月補正後予算額、H26年度は当初予算額  
 ※特別会計は、住宅新築資金等貸付、八王子山墓園の合計  
 ※藪塚本町介護老人保健施設特別会計はH25.12.31に廃止  
 ★長期保有地を全て買い戻すので大きく減っています。

## 5 財政健全化判断比率の推移

財政健全化判断比率とは、自治体の財政破たんを未然に防ぎ、危険な兆候がある場合には早期、かつ、計画的に健全化を図るための指標として、平成19年度決算から導入されています。太田市はいずれも「財政再生基準(赤信号)」、「早期健全化基準(黄信号)」を下回っており、なおかつ、数値も改善されています。

区 分	平成21年度決算	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	—	—	—	—	11.38%	20.0%
②連結実質赤字比率	—	—	—	—	16.38%	30.0%
③実質公債費比率	9.9%	9.4%	9.0%	8.4%	25.0%	35.0%
④将来負担比率	112.3%	104.7%	98.8%	93.2%	350.0%	—

- ①実質赤字比率 自治体のメインの会計である一般会計等の実質収支の赤字額が標準財政規模(地方税や地方交付税等の使い道の定められていない財源の大きさのことです。)に占める割合を指しています。
- ②連結実質赤字比率 自治体の全会計(=企業会計等を含む)の赤字・黒字を合算した結果赤字があった場合に、その額が標準財政規模に占める割合を指しています。
- ③実質公債費比率 一般会計等が負担する1年あたりの借金返済額(企業会計等+一部事務組合等の分を含む)が標準財政規模に占める割合を指しており、実質的な借金返済負担の重さを示します。
- ④将来負担比率 一般会計等が将来負担すべき負債(=企業会計等+一部事務組合等+地方公社・第三セクター等の分を含む)が標準財政規模の何倍あるかを指しています。

# 7. 平成26年度の主要事業

## ◎ 合併10周年を迎え 新たなステージへ



(単位：千円)

①新市民会館建設事業	1,244,492
②(仮称)太田駅北口駅前文化交流施設整備事業	270,000
③(仮称)太田駅南口市街地再開発補助事業	222,000
④太田駅南口駅前広場整備事業	200,400
⑤合併10周年記念事業	100,000

## ① 教育文化の向上



(単位：千円)

①渡良瀬川鉱毒資料展示室整備事業	30,000
②小中学校屋内運動場吊り天井撤去事業	136,654
③宝泉中学校給食室改築事業	136,098
④第3子以降子育て支援事業(保育料減免含む)	347,068
⑤生徒指導充実事業(おおたん教育支援隊含む)	133,335

※④の事業には、保育料無料化による歳入の減免分170,856千円が含まれています。

## ② 福祉健康の増進



(単位：千円)

①民間児童福祉施設整備費補助金(牛沢・由良・太田愛育保育園)	506,527
②放課後児童クラブ室施設整備事業(駒形小)	32,000
③放課後子ども教室推進事業(太田市こどもプラッツ)	58,930
④予防接種事業(不活化ポリオ、四種混合含む)	577,630
⑤母子保健事業(妊婦健診、不妊治療、乳幼児成育支援システム等)	253,026
⑥市民健康診断事業	507,621

## ③ 生活環境の整備



(単位：千円)

①新ごみ焼却施設建設負担金(環境影響評価など)	52,477
②水質安全対策(水道事業会計への出資金)	209,311
③交通安全対策事業(通学路整備含む)	82,628
④太陽光発電システム導入報奨金	40,000
⑤消防救急無線デジタル化整備事業	120,000
⑥消防車両・救急車両等整備事業	129,000





## ④ 産業経済の振興

(単位：千円)

①プレミアム金券発行事業	34,000
②電気自動車充電スタンド設置事業	15,900
③太田市野菜ブランド推奨事業費補助金	20,000
④青年就農給付金	21,875
⑤県営土地改良事業等負担金(滑川排水路整備事業他)	231,283
⑥制度融資資金貸付事業(経営安定資金融資貸付金など)	2,452,340



## ⑤ 都市基盤の整備

(単位：千円)

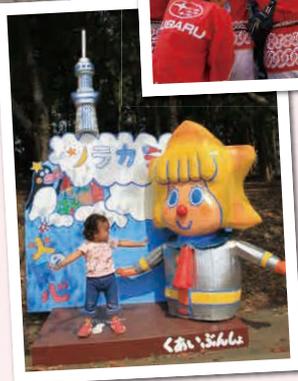
①(仮称)太田スマートインターチェンジ整備事業	56,418
②無電柱化推進事業	30,000
③道路新設改良事業(陳情対応の道路改良工事など)	170,000
④(仮称)南矢島中央公園整備事業	67,991
⑤北部運動公園整備事業(屋外ステージ整備等)	75,000
⑥鳥之郷南市営住宅建設事業	530,000



## ⑥ 行財政の推進

(単位：千円)

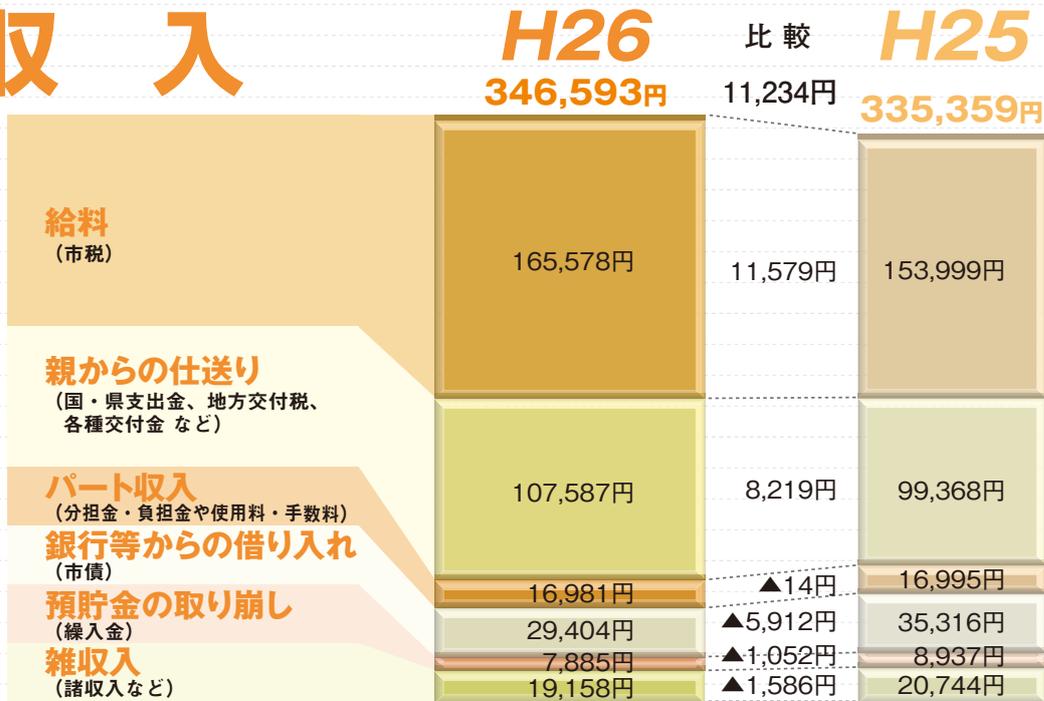
①土地開発公社経営健全化対策事業(用地購入費)	2,017,000
②本庁舎設備等保全事業	98,000
③毛里田行政センター補修事業	25,000
④1%まちづくり事業	150,000
⑤庁内及び行政センター講座用パソコン整備事業	58,000



# 8. 太田市の家計簿

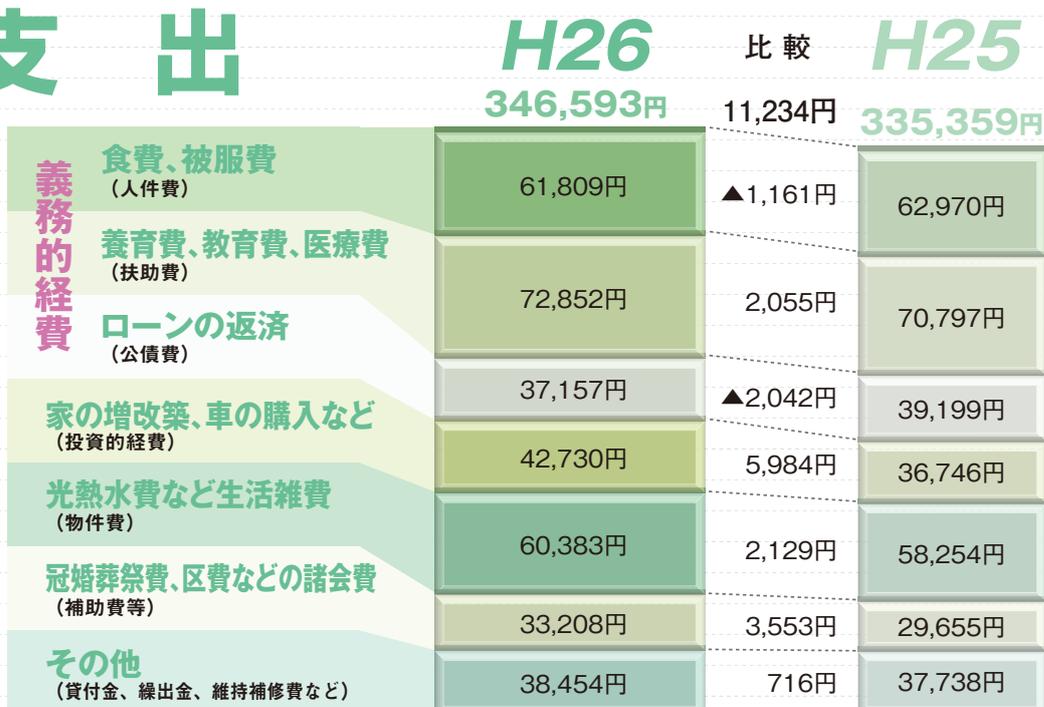
## 太田市を一般家庭に例えたら

### 収入



前年度と比べると、家計の規模が11,234円増えました。「給料」、「親からの仕送り」が増えており、景気の良さが反映されています。「銀行等からの借り入れ」が減り、借金に頼らない家計へ改善しています。

### 支出

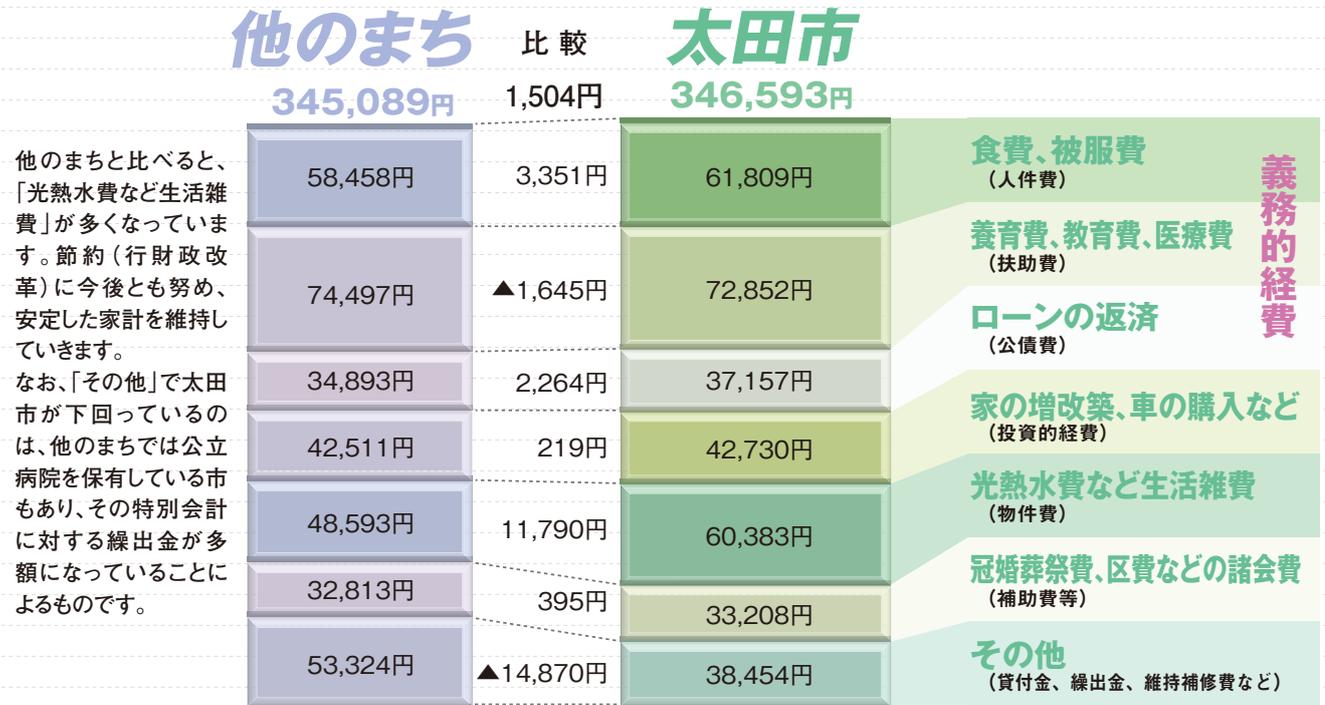
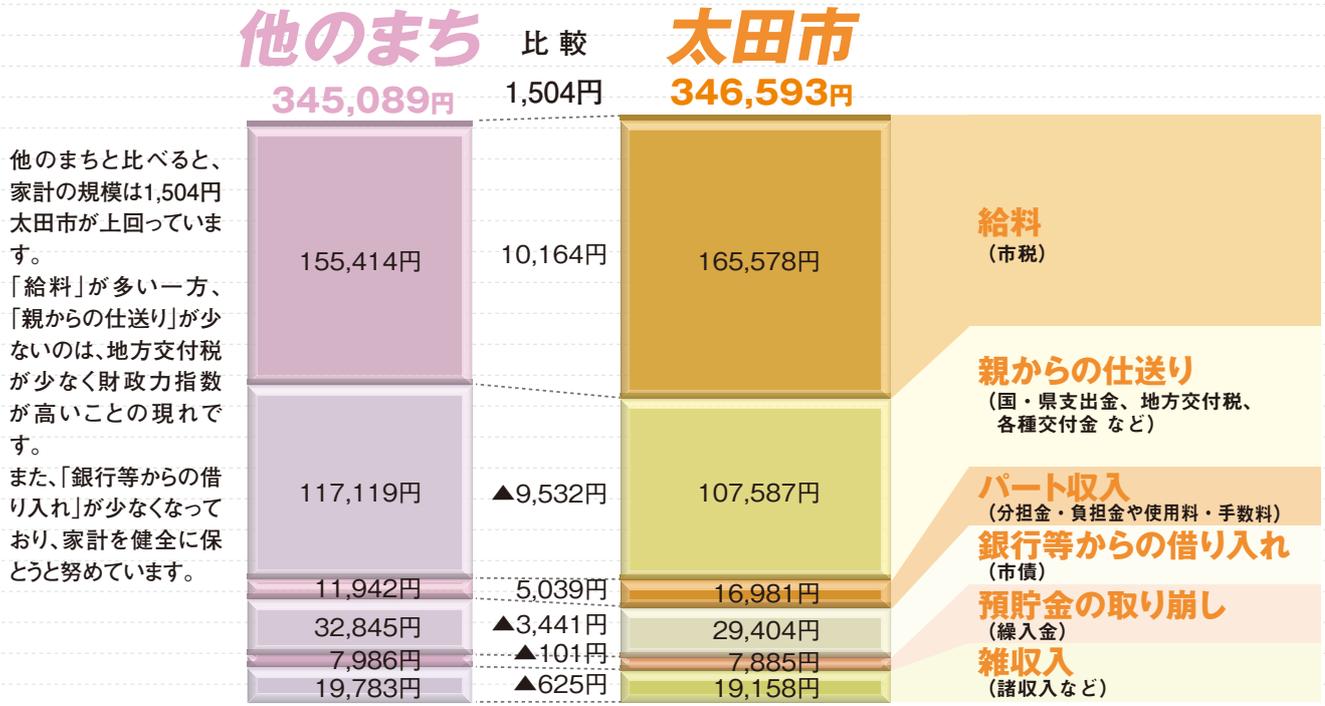


前年度と比べると、「食費・被服費」「ローンの返済」が減っており、自由になるお金が増えています。「家の増改築、車の購入など」が増えており、これからの暮らしの質の向上に向けて投資できています。電気料値上げ、消費税率引上げなどにより、各種支出が増えています。

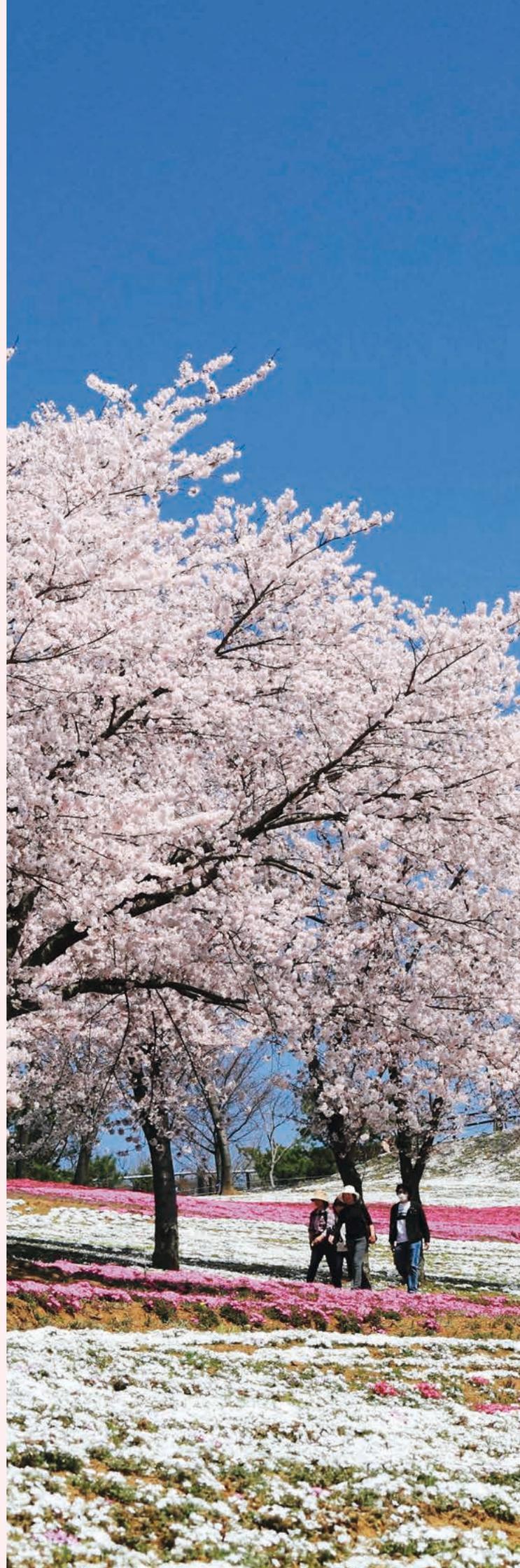
太田市の平成26年度一般会計予算を身近に感じていただけるように、「太田市の家計簿(市民一人あたり)」に例えてお知らせします。

平成26年度当初予算額767億円を人口221,297人(H26.1月末現在)で割ると1ヶ月346,593円の家計でやりくりする家庭に例えることができます。

# 他のまちとの比較



他のまち：家族構成(人口)や職業(産業構造)が似ている全国10市(特例市)の平均値とで比較してみました。  
 ※比較に用いた10市：伊勢崎市(群馬県)・平塚市(神奈川県)・上越市(新潟県)・沼津市(静岡県)・富士市(静岡県)・春日井市(愛知県)・一宮市(愛知県)・四日市市(三重県)・八尾市(大阪府)・加古川市(兵庫県)



この印刷物は、古紙パルプ配合の再生紙と、環境にやさしい植物油インクを使用しております。



おおた芝桜まつり  
(北部運動公園)